



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2022年3月13日朝刊

大自在

「打ち言葉」。スマホ画面を指でたたくなどしてネットで伝え合う言葉を指すのだという。2018年の文化庁報告書に「話し言葉の要素を多く含む新しい書き言葉」「新しいコミュニケーションの形」とある▼了解を「りよ」「り」と略したり、絵文字を使ったりする。助詞を省くことも多いようだ。若者が仲間うちでやりとりする言葉にすぎないと思えば目角を立てることもなさそうだが、今野真一清泉女子大教授は底流に日本語の劣化を指摘する（「うつりゆく日本語をよむ」岩波新書）▼話し言葉は声の強弱や表情と相まって伝えやすい。一方、書き言葉は文字によって場所や時間を越えるが、語彙や文法など、正確に伝えるための技術を必要とする。今野さんは「思考の器」として安定的な書き言葉の必要性を強調する▼文字を持たなかった日本語は漢字の伝来以来、話し言葉と書き言葉がせめぎ合ってきた。両者は平安時代の平仮名文で接近したものの、武士の世になつて乖離。明治時代に言文一致運動が展開されたが、完成までに半世紀以上かかった▼社会が変わると言葉も変わり、言葉が変わると社会も変わる。ネット社会の中で「新聞」の言語はどう変化していくのだろうか▼新学習指導要領に伴う高校国語の科目再編で、23年度以降の2、3年生が学ぶべき現代文は評論など情報伝達型の「論理国語」か、小説など自己表現型の「文学国語」か議論になった。新聞記事は前者に区分されようが、気持ちを伝えるための表現の工夫もある。切り分けには、やはり無理がある。

2022.4.13

①記事では、スマホ画面を指でたたくなどしてネットで伝え合う言葉を何と表現しているか。

(**「打ち言葉」**)

②記事中から話し言葉と書き言葉、それぞれの特色を読み取って書きなさい。

話し言葉 (**声の強弱や表情と相まって伝えやすい。**)

書き言葉 (**文字によって場所や時間を越えるが、語彙や文法など、正確に伝えるための技術を必要とする。**)

③文字を持たなかった日本語の「話し言葉と書き言葉のせめぎ合い」に大きな影響を与えた出来事は何か。

(**漢字の伝来**)

④新聞記事は「情報伝達型」、と「自己表現型」のどちらに区分されるか。

(**情報伝達型**)

⑤今後、言葉はどのように変化していくと考えるか。記事を参考にあなたの考えを60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)

若者の話し言葉の影響を強く受け、言葉を略す、助詞を省く、絵文字も用いるなどの新しい書き言葉に変わっていくのではないかと。(59字)

インターネットの発達やコロナ禍の影響もあり、気持ちや情報をより正確に伝えるための書き言葉が見直されていくのではないかと。(59字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/国語、総合)